

空港アクセス改善の必要性

大分空港は、大分県の空の玄関口として地域の発展に欠かすことができない重要な拠点です。

観光振興や企業誘致、関係人口の創出など、大分県の地方創成を加速させるためには、課題である空港アクセスを改善し、大分空港の利便性の向上を図る必要があります。

OITA
AIRPORT

NISHI
OITA

- 2020年 3月 ホーバークラフトによる海上アクセスの導入方針を発表
- 2020年11月 第一交通産業株式会社と「運航事業に関する基本協定」を締結
- 2021年 2月 藤本壮介建築設計事務所・松井設計設計業務委託共同企業体により旅客ターミナルの設計に着手
- 2021年11月 Griffon Hoverwork Ltd.によりホーバークラフトの建造に着手
- 2022年10月 ホーバークラフトの船体デザインを発表
- 2023年 2月 ホーバークラフトの船名を発表
- 2023年 5月 ホーバークラフトターミナルの名称及び通称、シンボルマークを発表
- 2023年 9月 ホーバークラフト1番船「Baïen」納入・引渡
- 2023年11月 ホーバークラフト2番船「Banri」納入・引渡
- 2024年1月 ホーバークラフト3番船「Tanso」納入・引渡（予定）



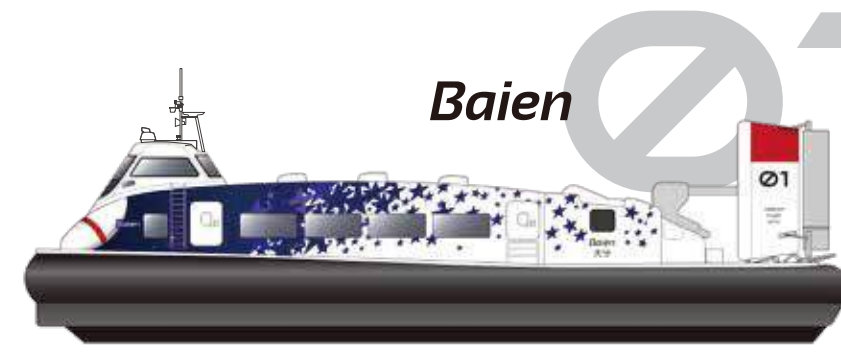
英国の工場では建造中の様子



英国での海上試運転



1番船「Baïen」納入の様子



Baïen



Banri



Tanso

【主要目】

型式:12000TD / 全長:25.66m / 全幅:12.75m / 全高:8.52m / 船籍港:大分県大分市 / 乗客数:80名 / エンジン:ディーゼル機関 793kw 2基
最高速力:45ノット(時速約83km) / 総トン数:122トン / 造船者:Griffon Hoverwork Ltd.

【Leading Particulars】

Hovercraft Type:12000TD / Length Overall:25.66m / Breadth Overall:12.75m / Height Overall:8.52m
Port of Registry:Oita city, Oita / Passenger:80 persons / Main Engine: Diesel engine 793kw × 2units
Maximum Speed:45 knots(83km/hour) / Gross Tonnage: 122 t
Shipbuilder:Griffon Hoverwork Ltd.

大分県企画振興部 交通政策課

TEL 097-506-2157

FAX 097-506-1731

大分空港海上アクセスの最新情報はこちらをチェック! <https://www.pref.oita.jp/site/hovercraft/>



OITA HOVERCRAFT

BETWEEN NISHIOITA AND OITA AIRPORT

01 Baïen | 02 Banri | 03 Tanso



日本で唯一のホーバークラフト旅客定期航路

OITA
AIRPORT

大分空港
(国東市)

NISHI
OITA

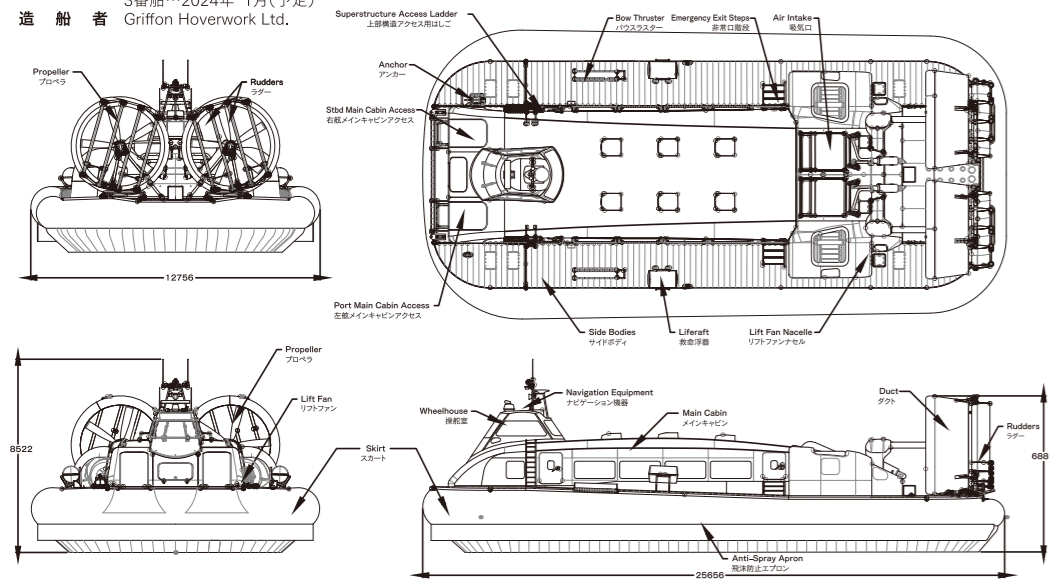
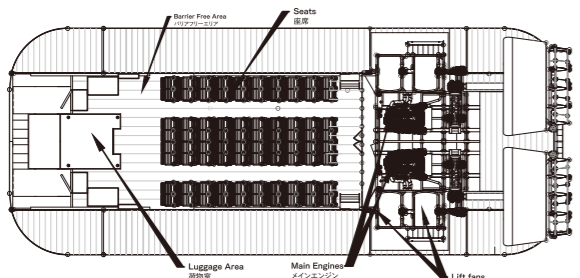
西大分
(大分市)

2024年 就航予定

主要目

型式	12000TD
数量	3隻
全長	25.66m
全幅	12.75m
高さ	8.52m
総トン数	約122トン
船籍	大分県大分市
乗務員数	2名(最大3名)
乗客数	80名
エンジン	ディーゼル機関 793kw×2基
最高速度	45ノット(時速約83km)
竣工	1番船→2023年 9月
	2番船→2023年11月
	3番船→2024年 1月(予定)

造船者
Griffon Hoverwork Ltd.



造船者について



Griffon Hoverwork Ltd.は、これまで190隻以上のホバークラフトを製造し、43カ国に納入した実績を持つ英国の造船会社です。関連会社に、現在、英国のポーツマス〜ワイト島間においてホバークラフトによる旅客定期運送を行っているHovertravel Ltd.があります。この航路は、現在世界で唯一のホバークラフトによる旅客定期航路です。

ABOUT HOVERCRAFT



客室(大型の窓)

乗客に広い視界を提供します。

バリアフリー対応

車いすのまま乗船できる車いすスペース2か所と、バリアフリー座席8席を備えています。



操舵室配置

操舵室を中央に配置し、パイロットに360度の良好な視界を確保します。



エンジン

2基のエンジンを搭載。デジタル制御により信頼性が向上しています。



大型プロペラ

回転速度を抑え、発生音が小さく、静かな乗り心地を提供します。



浮上用ファン

パウランプ

船首の左右2箇所に乗降用スロープを備え、乗員・乗客・貨物の迅速かつ容易な乗降を可能にします。

高いバウスカート

船首から船尾にかけてテーパ形状になっており、安定性が増し、乗り心地が向上しています。



長めのスカート(1.6m)

悪天候時の乗り心地と障害物上の走行力を向上させます。



船名・船体デザインについて

県では、大分空港海上アクセスとして導入する国内唯一となるホバークラフトの運航にあたり、県民や国内外の人に親しみや愛着を持ってもらうため、ホバークラフトの船体デザインと船名の一般公募を行いました。まず、令和4年10月に船体デザインを計98点の中から審査委員会を経て決定しました。両サイドには、ホバークラフトが海を走る際に立ち上がる白い水しぶきと、宇宙が星屑の形になり後方へ流れていく様子を掛け合わせたイメージを、フロントは、宇宙飛行士をはじめとした3隻異なるイメージを施し、宇宙を感じさせるデザインになっています。その後、令和5年2月には船名を計2,507点の応募の中から審査委員会を経て決定しました。3隻の船名の由来となった三浦梅園、帆足万里、広瀬淡窓は、江戸時代にそれぞれ現在の国東市、日出町、日田市において、西洋の天文学や医学、儒学など広く学問の研究や普及に取り組んだ教育者として「豊後の三賢」と称されている方たちです。

運航事業者について

2020年11月に、大分県と第一交通産業株式会社は大分空港と大分市内を結ぶホバークラフトの運航に関する基本協定を結びました。第一交通産業株式会社は、核となるタクシー事業において大分県を含む全国34都道府県に事業所を持ち、日本一のタクシー保有台数を誇っています。タクシー事業に限らず、全国でバス事業を展開するほか、乗合タクシーやMaaS構築など地域交通へも広く貢献しています。さらに沖縄ではグループ会社の「第一マリンサービス株式会社」が高速船事業を展開しており、船舶事業に関するノウハウもあります。2022年10月には、大分県内に運航管理会社「大分第一ホバードライブ株式会社」が設立され、人材募集や操船・整備訓練等、運航開始に向けた様々な準備を行っています。今後、就航に向けてダイヤや運賃などの各種情報も発信予定です。



ABOUT TERMINAL

ターミナルの設計について

旅客ターミナルの設計は、藤本壮介建築事務所・松井設計 設計業務委託共同企業体に行っていただきました。ホバークラフト発着地となる大分港西大分地区及び大分空港に整備する旅客ターミナル施設は、宇宙港を目指す大分空港を象徴し、なだらかに空へと向かって上昇する外観と、大分の原風景である杉林をイメージした屋内・屋外スペースが計画されています。

ターミナルの名称・通称及びシンボルマークについて

2023年5月に、ターミナルの名称・通称とシンボルマークを決定しました。ターミナルの名称は「ホバーターミナルおおいた」とし、県民だけでなく初めて大分県を訪れる観光客の皆さんも含めて、誰もがホバークラフトの乗り場と認識できる名称としました。通称は、「ホバー」や「おおいた」の語感を残し、ホとボの連続や跳ねる音を取り入れるなどして、可愛らしく親しみやすい響きを目指し、「HOV.OTA(ホボッタ)」としました。シンボルマークのデザインは、ターミナル外観の特徴的な形状である「空へと上昇していく」ような勾配を取り入れ構成しています。



ホボッタ

ホバーターミナルおおいた
Hover Terminal Oita

